

## 第 295 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 25 年 10 月 1 日 (火) 11:50～13:20
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] K-mix Rainbow Fly-Day DX  
[放送日時] 平成 25 年 9 月 27 日(金) 11:30～17:20  
[出演者] kainatsu、辰巳健太郎

### 4. 出席者

[委員] 委員長 出口泰規 委員 木宮敬信  
委員 山本りさ 委員 小野晃司  
[会社] 代表取締役社長 祐嶋繁一  
放送本部長兼編成制作部長 久保田克敏  
編成制作部副部長 寺田和史  
編成制作部 安原明子

### 5. 事務局報告

- 2013 年度上期営業収支状況の件
- 気象庁発表の気象特別警報の対応方法の件
- V-LOW マルチメディア放送を取り巻く現状、進捗の件

### 6. 番組審議

[対象番組] K-mix Rainbow Fly-Day DX

[放送日時] 平成 25 年 9 月 27 日(金) 11:30～17:20

[番組内容] リスナーのウィークデイ～ウィークエンドを繋ぐ虹の架け橋-----

2011 年にスタートした K-MIX Rainbow Fly-Day のバージョンアップとして 2013 年 4 月スタート。シンガーソングライター:kainatsu に加え、この番組がパーソナリティ・デビューとなる、東京生まれ、静岡育ちの辰巳健太郎が登場！ボケ/ツッコミ、感情/理論、男性的/女性的・・・、時にそれらが入れ替わる 2 人の絶妙なコンビネーションと、リスナーとのクロス・コミュニケーションを軸に、5 時間 50 分をカラフルに彩る。前半部分は“エネルギーチャージ”として、K-mix のオリジナルチャートのカウントダウンを中心に展開。後半部分は“ウィークエンド・フライング・スタート”として、レジャーやスポーツなど様々な週末情報を届ける。

[聴取・合評での主な意見]

木宮委員

5 時間 50 分という長丁場、テンションを保ってしゃべり続けるのは大変なことだと思う。2 人のトークはアドリブが多いせいか、かみ合わないこ

とが多いように感じる。また、番組冒頭で辰巳さんが浜松市南区でフットサルをしたことを話していたが、そのフットサル場を紹介したいのか、それともフットサルをして感じたことを話したいのか、どちらを話したいのかがよくわからない。ほかのパートでも「何を話したいのか？」ということがわからないことが多い。事前に何をどう話すのかを打合せをするべきだ。2人の間では会話として成立していることも、聴いている方からすると置き去りにされていると感じることがある。岡野宏典さんをゲストに迎えたコーナー、LAWSONの担当者を迎えたコーナー、ジュビロ磐田の広報担当者を迎えたコーナーのいずれで、kainatsuさんと辰巳さんの役割がはっきりしない。ゲストコーナーでは2人がしゃべり過ぎ、ゲストトークが少ない。長時間の番組なので全部を通して聴いている人は少ないので良いのかもしれないが、コーナーひとつひとつを聴くと気になる点が多い。辰巳さんの魅力、セールスポイントが何なのかをしっかりと把握し、それを表現できるような番組構成や内容をさらに考えるべきだ。

#### 山本委員

辰巳さんの「・・・だし、」という語尾が最初は気になったが、聴いているうちに気にならなくなった。岡野さんをゲストに迎えたコーナーでは、だらだらと進行して面白みがなく、興味がわくトークではなかった。岡野さんを引き立てるように進行することが必要だ。人の役割分担が不明確だ。「フットボールパーク」のコーナーなど、自分たちの好きなものを扱うところでは気持ちが入っているのはわかるし、番組のコンセプトである「カラフル」というニュアンスは伝わってくる。2

#### 小野委員

パーソナリティ2人の立ち位置やバランス関係が分かりにくい。Kainatsuさんがメインで、辰巳さんがサブのポジションでテンションをあげて雰囲気を作るスタイルが良いと思うが、そうでない時がままある。さらにゲストなどが入って3人になるとバランス関係がさらにわからなくなる。2人は聞き役のはずなのに、そうになっていない。2人は個性が異なるので、それぞれが自分の持ち分を決めて、バランス関係を確認しておくことが大事。Kainatsuさんは自分の考えやエピソードを話す時は楽しそうなので、そういう場面での辰巳さんのフォローが大切だ。互いに牽制しあったりするのはもったいない。辰巳さんは1人で番組を担当すれば持ち味が発揮されることもあると思う。そういう意味では番組中ずっと2人でしゃべる必要もない。どちらかが出ないコーナーがあってもよい。LAWSONのコーナーは、雑誌でいうところの記事広告のようなスタイルで、生活感があり、聴く価値のある情報としてリスナーに捉えられるのではない。良いコーナーである。

出口委員長

2人のパーソナリティの役割分担がしっかりとできていない。ゲストが出演しているコーナーなどは、ゲストを肴にして2人で盛り上がっている感がある。コンビを組んで日が浅く、週1回の番組であるから仕方がない部分もあると思う。この日の番組のメッセージテーマ「やっと会えた」については、そのような盛り上げが不足している。時間が経てば呼吸も合ってくるであろう。番組最初から最後まで通して聴いているリスナーは多くないと思うが、だとしたら長尺番組の狙いはどこにあるのか。コーナーとコーナーを繋いでいくだけであるならば、長尺である必要もない。どういうリスナーをターゲットにし、どういう目的で長尺にしているのかを、考えさせられる番組だ。

会社サイド

前回（第294回）では、全体的によい評価をいただきましたが、さらに良い番組とするよう、いただいたご意見を出演者、スタッフで共有し今後の糧としたいと考えます。

今回（第295回）ご指摘いただきました点につきましても、今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

7. 次回開催日 平成25年11月5日（火） 11:50～13:30を予定

以上

番組審議会委員長

出口 泰 規